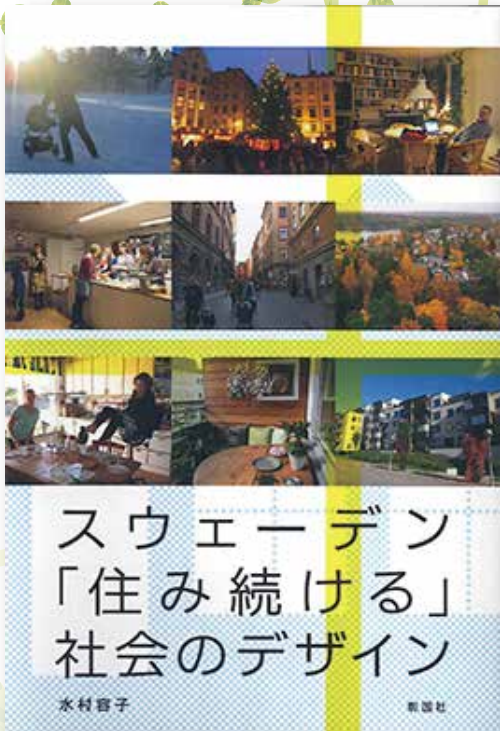


神楽坂サロン 11月

スウェーデン 「住み続ける」社会の デザイン



「住み続ける」ための社会制度・住宅・コミュニティづくりで様々な努力・試みを重ねてきた福祉国家スウェーデン。軌道修正しながら、なおも新しい社会をつくり続けています。少子化、高齢化、経済格差、居住困難、空家など多くの問題が生じている日本社会がスウェーデンから学ぶべきことはなんなのか、考えてみたいと思います。

講師 水村容子 東洋大学教授

1966年東京生まれ。日本女子大学大学院時代に、スウェーデン政府給費生として王立工科大学で2年間、障害者の住宅・建築環境を学ぶ。現在、東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科教授。精力的にスウェーデンへ赴き、関係者へのインタビューや調査を続けている。博士(学術)

著書

スウェーデン「住み続ける」社会のデザイン [彰国社]

セーフ・コミュニティ活動における住民の自助・共助・公助への意向—小諸市における市民アンケート調査に基づく考察— [日本建築学会計画系論文集]

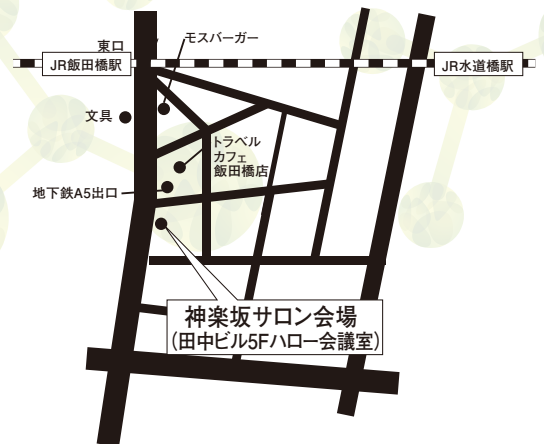
申込→<http://www.machi-kaeru.com/>

11・20 Fri

開場 18時10分、開始 18時30分
田中ビル 5F ハロー会議室 飯田橋 5F
千代田区飯田橋 3-4-4 第5田中ビル

参加費：一般 1500円
会員 1000円
学生 500円

申込→



※終了後、懇親会を予定しています。(会場未定、費用別途)
※いずれも事前に申込が必要です。申込なしでご来場頂いた場合は資料や席が用意できないことがあります。当日、都合が悪くなった場合はキャンセルをお願いします。
※定員に達し次第締め切らせて頂きます。